

# あるぺじお

第 21 号

平成19年5月1日  
関西大学ギタークラブ  
OB会 発行

機関紙編集委員会

上田 新平 (6期)

高本 健児 (9期)

<ホームページ>  
<http://homepage2.nifty.com/kugc-ob>

## 大先輩と練習生、現役生と練習生の酒盛り交流会

こんな長ったらしい名称のイベントが平成17年2月に開催され今年で3年目を迎えるに至った。「あるぺじお20号」にも掲載されているが平成16年7月に開催されたOB会幹事会に於て現役生より演奏指導の要請を受けた。その8ヶ月後の

平成17年2月12日に本会がスタート、1カ月後の3月26日にも開催された。翌年3月25日(土)、3回生(新幹部)16名中の14名と、OBからは6期・西尾保弘さん、16期・濱近由香利さん、遠藤厚さん、19期・木村浩三さん、稲谷朋彦さんの5名が参加して「第2回」が行なわれた。そして本年2月11日(日・祝)、新三回生(幹部)19名中13名の参加者に対し「第3回目」の本会が開催された。



OB参加者は6期・西尾保弘さん、9期・高本健児さ

ん、13期・小林哲さん、16期・遠藤厚さん、19期・木村浩三さん、21期・北島和彦さんの6名。

練習は午後1時から2時間余りで、春合宿で演奏する独奏曲がメイン。現役生が各々練習しているところへOBがアドバイスをする形で進行する。

クラシックギター音楽も流行(はやり)があるようで、ここ10数年位の作品は今回参加のOBにとって、段々と馴染みのない曲が増えてきているようだ。ソルタルレガを中心にアルペニス、ピラロポス等で独奏曲を模索していた6期や9期のOBにとって近年人気の新鋭作曲家は彼らと「同



等。「練習を見に行つて」初めて知る曲が多いのにはあらためて歳月を感じた、と古参OBは言う。この日練習していた曲を挙げてみると、マドリガル・ガボット(パリオス、三千院ヨーク、想い出の組曲(メurlin)、そのあくる日デーラ、チキリン・デ・パチン・ピアソラ等々。分かりますか?中には鐘の響き(ペルナンブーコ)を練習している人もいてOBもひと安堵(?)。

年代」、或いは「年下」も少なくないそうだから...ネ。例えばブローウェルは1999年生まれ、ドメニコ二は47年、ディアンズは55年、佐藤弘和さんは66年生まれ

さん、現役生からは山根慎士さん、渡辺秀明さん、米浪健介さんがそれぞれ敏腕を披露した。OB会の新たな行事として定着しそうな本会だが、

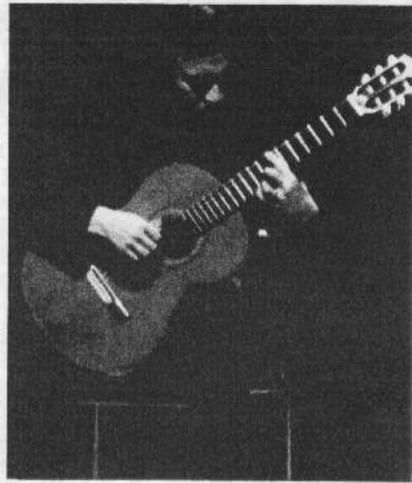
「現役合同リクレーション」とは違つてクラブ活動の本質に迫る行事だけに参加OBの責務も重たいものがあるようにも思える。交歓独奏会の後は「酒盛りをする会」が例年通り関大前の「串松」にて開催された。OB6名は現役生の間に散りぢりに座る形で会食が始まったが、ギターの話、音楽の話、クラブの過去の逸話等々、尽きる事なく会話ははずみ短い時は過ぎていった。



その後も、OB全員と現役生3名が梅田の「グラナダ」へ乱入、終電ギリギリに及ぶ「交歓会」は幕を閉じた。

# チャリテイコンサート

第18期 井開 隆広



第18期卒部の井開です。

3月21日現居住地の呉市にてチャリテイコンサートを開催しました。

昨年12月に広島市内で開催したコンサートの評判がよく、1回で終わらずのもったいないとの声をたくさん頂き、井開の地元での開催が実現しました。

広島に来てから知り合ったギターオタクたちとの縁の中で結構色々企画をしています。メンバー5人の中にはコンクルの優勝者もいて広島では結構みな名前が売れています。チ

ャリテイとしたのは自身自身ここ数年の疾患に苦しんでおり、両目とも角膜移植をしています。しかし、移植に必要な

眼の提供者が国内ではなかなか見つからず、私は海外からの提供でオペを受けました。お世話になった眼科病院の少しで

もお役に立てればと、検眼登録の認知度を上げるためのチャリテイとしました。プログラムはスペイン物を中心に、ソロ、2重奏、フラメンコ、5重奏と盛り

だくさんの内容でした。井開が演奏したのは、ソロ/禁じられた遊び、アルハンブラの思い出、早春賦(武満徹編)2重奏/三つの秋の小品より(ブーホル、ヒ

ロシマという少年(武満徹)5重奏/序奏とファンダンゴ(ボックリーニ)です。その他は、カタロニア民謡集、牛を見張れ、スペイン舞曲第1番、幻想曲(ソル)、アストリアスなどです。アンコールには少年時代を演奏しました。



クラシックギターの音色は癒しの音楽として至極の物だと思えます。幾つになっても美音を追求する気持ち忘れずギターを弾き続

## 「3年振り」幹事会を開催します。

昭和61年より年に一度開催されてきた幹事会ですが、マンネリ化してきたのか、ここ数年間は幹事の出席率が15%~20%に低迷し、その出席者もほぼ同じ顔ぶれとなってきた為、平成16年を最後に2年中断してしまいました。この度、3年振りに下記の通り、開催します。

●中断している行事  
●OB会の展望、他  
になる予定です。

●「議題」は  
●7月16日(月)・海の日  
午後1:00~5:00  
■大阪市中央区民センター

けたいと思います。最近、同期の末岡と『大阪の連中のギターを弾きまくりたいな』と会うたびにぶつぶつ言っています。大阪に行く時は多方面に連絡しますのでお相手のほど宜しくお願いします。『追伸』10月の大阪出張の時、相手をしてくれた19期の木村君、めちゃくちゃ楽しいお酒でした。本当にありがとう！

## 会費払い込みのお願い

OB会では年会費を2,000円として会員の皆様に負担して頂いていますが、年々払込み頂く方が少なくなってきています。

ここ数年の払込者数は全会員の20%、5人に一人位にとどまっています。OB会の一年間の主な使用経費は●機関紙の制作費と郵送費●現役生への支援(定期演奏会や独奏演奏会の祝儀など)で、25~30万円となっています。会員名簿作成を始め山積する諸業務は財政的な理由から保留状態になっているのが現状です。

OB会の財源は「会費」のみです。更なるOB会の発展の為にも会員の皆様のご協力が必要です。同封の払込取扱表にてお支払い下さいます様お願い申し上げます。

## OB会ホームページの掲示板をリニューアル

～携帯電話からも利用できます～

これまでのプロバイダで提供されていたサービスが変わったのですが、従来の文字だけの投稿ではなく、写真などの画像も投稿でき、その上、下記のURLに接続すれば携帯電話からも閲覧・投稿ができるようになりました。携帯電話からは文字だけの投稿となります。ご容赦下さい。

URL <http://kugc-ob.board.coocan.jp/>

# 早川さん、グラナダ・デビュー

第19期 木村 浩三



## 《当日のプログラム》

- 第1部
  - ファルーカ
  - ソレアレス
  - セヴィリアーナス
  - アラビアン・ファンタジー
- 第2部
  - カンパニョーロス
  - メディ・グラナディーナス
  - アレグリアス
- アンコール
  - アラビアン・ファンタジー

平成19年3月10日、大阪梅田阪急東通り・グラナダで行なわれた土曜日恒例のミニコンサートに第7期・早川賢治さんが出演されま

生時代に関西(日本?)フラメンコギターの草分け的存在の三好保彦先生に師事されたように、サビーカーに代表される土臭い、私たち

木村 浩三  
した。早川さんは現役時代、部長を勤められ、10年前の第2回OBコンサートでも達者なフラメンコギター演奏を披露していただきまして、奇しくもこの日は早川さんの60歳の誕生日の前日あたり、還暦前の最後の数時間を青春のギターと共に過ごされた格好となりました。

演奏は、学

がフラメンコとして認識しているフラメンコを丁寧に演奏され、楽しい時間を過ごせました。

OBの来客は、ご近所の誼もあり恒例のワイン持参の6期・西尾さん、早川さんと同期では塩崎さん、日沖さんと千葉から来阪された河井さんの三名。河井さんは当サイトでもリンクしているギターショップ・カワイを経営されていて、今回使用されたギターも河井さんのお世話になるものという事です。その他には、今回のデビューをそそのかした17期の森兼さんと私がお邪魔しました。

今回の演奏に気を良くされたか、グラナダのマスターに上手く口説かれたのか、次回の早川さんのグラナダでのステージは年末の12月1日(土)となりました。もしかするとこの時に河井さんと共演が実現するかもしれません。

また、早川さんをはじめとする7期の方々は、次回

の早川さんの演奏に合わせて同期会(還暦会)を開こうと意気投合されました。詳細は後日連絡されるとのことですので、7期の皆さんは予定を空けておいてほしいとの事です。

グラナダ・デビューを終えた早川さんからは次のコ

メントをいただいています。「お客さんに聞かせられるレベルの演奏にはなりませんでしたが、自分なりに短期間とはいえ一所懸命練習した結果ですので、それなりに納得しています。一人で弾いているときとはまったく違いますが、自分なりに



河井さん 塩崎さん 早川さん 日沖さん

## 7期同期会のお知らせ

本年12月に同期会(還暦会)を開催する予定です。詳細は後日連絡しますが、メールアドレスを持っておられる方は、メールで案内しますので下記アドレスまでメールを入れて下さい。

まったり、突然次のフレーズが思い出せなかったり、結構苦労しましたが、音楽とはこういうものですね。むしろ大きなステージの方が圧迫感がなく、気楽に弾けるように感じました。

短期間とはいえ一所懸命練習した結果ですので、それなりに納得しています。一人で弾いているときとはまったく違い、練習中に間違ったことのないところで詰

# 生月島音楽便り。

第3期 西側 圭治

「渡り鳥 殉教の島 綴り行く... 春郎」の句碑が島の北端の大バエ灯台で訪れる人を迎える生月島へは、平戸島から生月大橋を渡り南から入ります。この島は先の句のように、大陸から東シナ海を渡って日本に来る渡り鳥の中継地であり、歴史に隠れキリシタンの悲しい物語を持った島で、さらに勇壮な捕鯨で栄えた島です。私がこの島を何度も訪れるようになったきっかけは、奈良の住居近くの公園をウォーキングしていきなり合った友人が、この島で年金暮らしを始めたので遊びに行ったのが始まりです。

平戸島から生月大橋を渡って行くと、生月島の周囲は、まさに群青の海で、車で行ける最西端の島です。東側の道路に沿って集落があり、西側の道路はサンセ

ット・ロードと呼ばれ、太陽がそれは素晴らしい景観を見せてくれます。この二つの道路が交わって、柱状節理で有名な塩俵の断崖があります。

ここにお話する塩俵はドライブイン「バヤラ」が在り、さらに道は大バエ灯台



へと続いて行きます。この「バヤラ」で元バンドマンだったマスターの計らいで、土曜日の夜はこの島在住のミュージシャンの誰かがステージに上がり、オリジナル曲の練習をします。月末の土曜日には、「夕焼け劇場」と名うってフェスティ

バルが催され、島のミュージシャンも加わり、賑やかに様々のジャンルの音楽の演奏が見聞き出来ます。マスターが歌い、ギターリストのオラシヨさんはエレキからクラシックまでジャンルは広く、良いクラシックギターを持っています。それは1974年製の「マルセル・バルベロ (HERO)」で、弾き易く良い音がします。この人の音楽感性は天才的センスに満ちています。彼は長崎新聞に連載コラムを2年間、生月島の自然について書いていました。また、船舶関係の鉄工所、ラーメン店等の経営者でもあります。最近この人は海洋資源保護活動にも積極的に活動もしています。HPで検索すれば沢山出ます。次に、島在住のトンボさんですが、この人はアメリカ、中南米、ヨーロッパを股に

かけ、本職のネオン管加工技術の習得と音楽修業をされた人で、現在島で工房を持ってオリジナル・デザイン

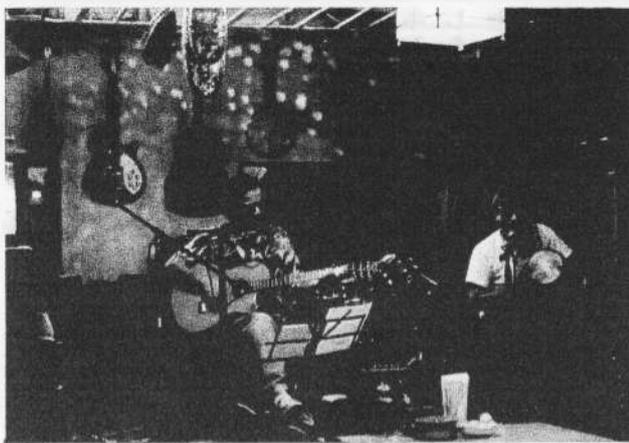
のネオン管を作っています。トンボさんはバンドで使う楽器のすべてを演奏できます。さらに短編小説に優れた作品を書き貯めておられる多才ぶりです。トンボさんに、「ジブシー・キングス」のニューヨーク・セントラルパークでのコンサートに居合わせたおりの話もお聞きしました。トンボさんの奥さんもキーボードで演奏に参加します。この3人(松尾さん、トンボさんとお母さんのアコーディオン)に私の友人が加わり「オルケスタ・デ・ラ・ルナ」と、言う



名のバンドが結成されており、独創的な曲を作っています。毎月末には、客演音楽家が入替わり次々と来演します。有名な熊本の「天バさん」、この人は名高い有機農法実践家で、「天バさん」で検索すれば「ド・レ・ミ村」等HPがいっぱい出ます。また、ボンゴ一つでユパンキのように様々な音色を出し歌うお百姓さんも熊本と聞いております。また佐世保のご夫婦でギターと奥さんのアコーディオンで歌い、奥さんの姿は、映画「愛と哀しみのボレロ」のシーンを思い出しました。福岡の「チーボウさん」、「筑紫さん」、さらに「ユージ」さん、彼から貰ったパーカッ

ションのCDの音楽は心なごむ音楽で、彼の経営する博多の「45円屋さん」のHPを開けば、BGで聞けます。沖縄サンシンを弾くお姉さん、東京からくる「麻原シヨウコウ(風貌で私が勝手にそう呼びました。)

さん、奈良天川村から「レインボウ・バンドさん」も来たそうです。この人たちが「夕焼け劇場」の常連さんです。他に、オラシヨさんの奥さんのピアノと歌が加わり、それは、楽しい音楽会が夜の更けるのを忘れて盛り上がります。彼らの音楽は、人まねでない、オリジナル中心のレパートリーで、初めて夕焼け劇場に行ったらおり、聞いたことの無い音楽がガンガンと鳴って、「何じゃ、これは？」と驚きました。が、歌詞が判ってくる、強いメッセージが込められ、長崎(原爆)の、佐世保(軍港)の、生月島(キリシタン)の姿が歌われています。今の日本人が忘れてはならないテ



ライブの様子 (マスターと、とんぼさん(右))

「Bの方も、この島へ行って、出演しませんか? 最果て(西果て)の島の海の色を見て、少し歴史に目を向け、クラシックギター音楽の芽を大きく育てて戴けませんか? 私の拙い腕では力不足なのです。」

「ママがこれらの歌の中にあ  
ります。初めて“夕焼け劇  
場”に行った夜、オラショ  
さんは“奈良から来た友人  
西側さんに!”と言って踊  
で、“グリーンスリーブス  
”を即興で弾いてくれまし  
た。何回目かに島に行くと、  
かのバルベロで“アルハン  
ブラの想い出”を見事に弾  
くようになりました。私は  
酒が飲めないのです、¥40  
0のコーヒーで、最後まで  
楽しんでおります。“パヤ  
ラ”のメニューの代金は昼

間と同じです。“夕焼け劇  
場”に出演してもギヤラは  
出ません。遠くから来演す  
る人は、前日の夜遅くなっ  
てから島に来て、島在住の  
ミュージシャンのお宅でゴ  
ロ寝状態で泊まり、朝から  
リハーサルをします。  
現役の皆さん、この島で  
合宿しませんか? 打ち上げ  
発表会は、この島でも、平  
戸島でも出来ますよ! なら  
ば私の島に居る友人も骨を  
折ってくれますよ! 彼は方  
々に顔を広げています。〇

## Guitar club 現役生コーナー

### ギタークラブ部長

経済学部三回生 横田麻帆



はじめまして。  
46期部長を勤めさ  
せていただいております  
横田麻帆と  
申します。今回は  
OB会からのお誘  
いをいただき、寄  
稿させていただきます。  
運びとなりました。  
今年3月時点で、  
56名(うち男性35  
名、女性21名)の  
部員で構成され  
ています。数年前  
まで、男性の占め  
る割合が圧倒的に  
多かったのですが、  
昨年度の女性入部  
者が多かったこと  
もあり、構成比が  
変化してきている

ように思います。今年も男  
女問わず、更に多くの新入  
部員を導入し、ギターファ  
ンが少しでも増えるよう頑  
張りたいと思います。  
さて、クラブの近況をご  
報告させていただきます。  
まず、2月28日に学内のK  
Uシンフォニーホール(旧  
・特別講堂)で関西学院大  
学と交歓演奏会をさせてい  
ただきました。これは、新  
3回生だけでなく、新2回  
生もアンサンブルや重奏な  
どで多数出演し、良い経験  
になりました。また、関西  
学生ギター連盟のOBで結  
成された「Pop Project」の方  
々もゲスト出演してくださ  
り、大きな刺激を受けまし  
た。3月4日からは6泊7  
日で2、3回生による春合  
宿を兵庫県多可郡にて行な  
いました。写真。今回は教  
会がソコ発表の会場となり、  
その音響の良さと雰囲気、  
楽しんで演奏できたように  
思います。私たちは強練、  
今宿を通して、3月20日の  
立命館大学との交歓演奏会

のための練習  
を行ないまし  
た。私自身、  
今回始めての  
アンサンブル  
リーダーをさ  
せていただい  
たのですが、  
苦勞が多い反  
面、皆で1つ  
のステージを  
作り上げる楽  
しさと達成感  
は何事にも変  
えがたいもの  
であることを  
実感しました。  
ギターを弾  
く喜び、そしてクラブの楽  
しさを各部員がたくさん感  
じられるように、新入生に  
伝わるように、一年間頑張  
っていきたいと思います。  
そして諸先輩方が築いてこ  
られたこの歴史あるギター  
クラブがより一層発展する  
よう努力してまいりたいと  
思います。最後になりました  
が、演奏の告知をさせて  
いただきます。



5月17日(木)、6時30分  
(6時開場)・吹田メイシア  
ター小ホールにて独重奏演  
奏会を行います。また、  
6月16日(土)・箕面メイプ  
ルホールにて関西学生ギタ  
ー連盟による定期合同演奏  
会を行います。  
どちらも充実した内容を  
予定しております。お時間  
ございましたら是非お越し  
ください。

# 現役合同リクレーション

第19期・木村浩三

平成18年9月23日(祝)、淀川河川敷公園で「現役合同リクレーション」が開催されました。平成元年、芦屋ロックガーデンでのハイキングから始まったこの催しも関西サイクルスポーツセンター、飛鳥路サイクリング、農業公園・信貴山のどか村などの体力系の企画を交えながら18回を数えることとなりました。

ほぼ恒例となり、現役生の間でも「OB会のリクレーションパーベキュー」と認知されているパーベキュー大会ですが、今回は例年と開催時期を変えて行なわれしました。例年は、現役生の練習を考慮して定期演奏会後の翌々週の日曜日を原則としていたため、11月下旬から12月初旬の開催となり、河川敷公園を独占するといふ贅沢さと引き換えに寒風吹きすさぶ中、火の

周りに寄り集まるという、はた目にはホームレスの集会のような状況でありまし

た。常連のOBの中にはそろそろ還暦の声を聞く方もあり、さすがに冬の風は体



につらいというこ  
とで気候  
の良い時  
期に変更  
したいと  
いう気持  
ちもあり  
現役生と  
調整した  
たところ  
夏合宿の  
後で後期  
の授業が  
始まるま  
でなら大  
丈夫とい  
うことで  
したので  
この日の  
開催とな  
りました  
彼岸の中

日なので、「暑さ寒さも彼岸まで」と淀川を渡る風が心地よいくらいに天気を予想していたのですが、地球温暖化の影響からか、予想外に厳しい残暑でありました。とはいえ、周りは例年と違い多くの家族やグループがパーベキューを行ない、中南米の音楽を流して踊りだすグループもあるという賑やかさです。その中、当方はいつものペースを崩さず、買出し・火起し・下拵えと着々と工程が進み乾杯も済んで、さあこれからというときに徹夜仕事明けの9期の高本さんが差し入れのワインを片手に参上されました。その後、ビール・肉食中心のパーベキュー(もちろん車で来られた方は自重しています)となり、締めは定番の焼きそば。そして19期の前田さん持参のコーヒーマイルで豆を挽いて食後のコーヒータイトとなりました。昨年、一昨年と宴の最後に披露していたOB伝統の口上・関西大学学

歌・逍遙歌は周りの目もあり今回は断念し、二次会として、OB遠藤さん、木村、現役生玉井さん、阿倍さん、横田さんの5人が阪急東通り「グラナダ」へ行きました。

16期・遠藤さん、19期・前田さん、木村の5名に、稲生さんのお子さん、前田さんの2名。現役生は四回生・川口さん(前部長)、3回生・玉井さん部長、2回生・阿倍さん、高橋さん、横田さんの5名、総勢13名でした。

## 今年もやります

合同リクレーションは「合同パーベキュー」になりつつあります。いや、もはやそうなっています。場所は左記の通りです。

日程は未定ですが、今年も昨年と同じく初秋になると思います。詳細はHPを見て下さい。皆様のご参加お待ちしております。



# ギター・マンドリン・カンサンスル 老人ホームでのコンサート

第17期 森兼 弘



今年2月下旬の事です、7期の永井 旧姓・藤沢 正枝さんより「経営している老人ホームで、ボランティア

ア演奏してくれる？」と依頼の電話を頂きました。メンバーの高齢化と仕事の都合など考えて躊躇しましたが、みんなこの旨メールを送ると、是非参加したいとの返信があり引き受けました。ご年配方々への演奏は初めてなので曲目選定に戸惑いしましたが、入居者にオペラの好きなきなご婦人がおられることを聞いてアリアから2曲と「千の風になって」を従来のプログラムに追加して、長らく無沙汰の竹本会長に編曲を依頼しました。ご自身も数年前に脳梗塞をわずらわれ、お仕事もリタイアしてお暇にさされていたので、「リハビリ」の一環として請け回りました。練習は一回限りで、メンバー全員こんな演奏でええんかいなという不安を抱えながら本番当日を迎えることになりました。

会場の「グラート大今里」は、ホテルと見間違えような豪華な建物で、メンバー一同、将来こんなところに入れたらええなあと感嘆の声。コンサート本番は、最初はぎこちない演奏から始まりましたが、竹本、高本両

## 山口ギターコンクール 18期・末岡さんが最高位

2006年8月6日、下関市長府東公民館にて開催された第34回山口ギターコンクール（山口県ギター音楽協会主催）に18期・末岡さんが出場し、「独奏上級の部」の最高位の栄冠を勝ち取りました。この時の最高位は一位なしの二位で、末岡さんは事実上「独奏全部門」27名の出場者の頂点に立ちました。末岡さんは「腱鞘炎」と言う大ハンディの中での栄冠でした。課題曲のタレガの「ムーア風舞曲」のスケールはpiで弾いたとの事。自由曲はアルベニスの「マジョルカ」でした。さらなる躍進を期待したいと思います。（写真）前列右から2人目が末岡さんです。



先輩の名編曲に助けられ、聴衆の皆さんに盛り上げて頂いて無事終了しました。その後、近くの居酒屋で宴席を設けて頂きました。永井さんには色々お気遣い頂いて、感謝しております。

老人ホーム入居ご希望者



がおられたらご相談下さいとの事です。

《詳細は》  
社会福祉法人・慶生会

当日の曲目等は、OB会HP掲示板をご覧ください。

演奏メンバーは、関大OB会より9期・竹本、高本、17期・森兼、19期・稲谷、木村、そして堀川マンドリン合奏団から後藤、松村、多田（以上、敬称略）の8名でした。

# 30年目の同期会顛末

第14期 安宅 恒夫

それは一枚の年賀状から始まりまし  
た。平成18年元旦のことです。

「今年は卒業して30年目ということ  
もあって、久しぶりに同期会をしよう  
と思います。連絡は主にメールで行い  
たいと思います。近況等を書いてメー  
ルしてください。」その年の干支でも  
ある「戌」がデフォルメされ、おしゃ  
れな年賀状でした。みんなに宛てたメ  
ッセージも、本分の中にとけ込んで、  
センスの良さが光ります。

それから時間がたって、二月のこと  
です。第14期の同期生である井坂佳弘  
氏から、突然に電話がありました。  
「年賀状見てくれた？みんなから一向  
にメールが来ないんだ」と、彼は怒っ  
ていました。「エー、何のことや」と  
答えたものの、訳が分かりません。あ  
の奇麗な年賀状は彼からだったのです。  
元日のことでもあり、年賀状を受け取  
った同期のみんなは、きっとお屠蘇を  
「覚悟で同期会の幹事を  
引き受けたのです。(そ  
うは言っても、彼は人材派  
遣の会社を営んでいるの  
ですが……)」「すまん。  
年賀状のことは飲み過ぎて  
忘れていたよ」と、憤懣や  
る方ない井坂氏をなだめる  
のに一苦労。彼も気を取り

たくさん飲んでいたのでし  
よう。彼の呼びかけに応え  
て、メールを送った者は誰  
もいなかたのです。  
同期で部長を務めた江島  
茂氏からの勧めもあり、自  
称「人の世話があまり得意  
でない」井坂氏としては  
「清水の舞台から飛び降り

直して「うちの期は、電話  
やな」と作戦変更です。

前年に同期会をされた第  
10期の先輩方は、メールで  
連絡を取り合ったそうです  
が、第14期には当てはまら  
なかったようです。それから  
というものの、井坂氏は同期  
生の家や職場に電話をしま  
くって、みんなの意向を確  
認しました。

五月に入って、同期会の  
案内と出欠確認の通知が届  
きました。開催日時は7月  
22日、場所は京都市中央区  
六角堂近くの「旅庵花月」  
です。できるだけ都合をつ  
けて、泊まり込みで楽しも  
うという企画でした。そし  
て六月には旅館のパンフレ  
ットなどが送られてきて、  
期待感が高まります。

同期会当日、京都はいい  
天気でした。参加者は、同  
期20人中17人。北は埼玉、  
南は沖縄。遠くの者もいれ  
ば、京都に済む者まで、こ  
の日、この時間に集まって  
きました。  
大学時代に、ギター部で

過ごした4年間は、今から  
思えば濃厚で熱い時間だっ  
たと感じます。本当に久し  
ぶりの再会なのに、たった  
今、部屋を出てきたような

錯覚に陥ります。全員50を  
過ぎた立派なおじさん、オ  
バさんですが、気分はずっ  
かり20代です。話題はまず  
健康のこと。次に「ああで

でもない、  
こうでも  
ない」と  
当時の馬  
鹿話に花  
が咲きま  
す。せっ  
かく山口  
勉氏がフ  
ォークギ  
ターを持  
参してく  
れたので  
すが、あ  
まり歌う  
時間がな  
く、ちょ  
っぴり残  
念でした。  
これまで  
の時間を  
埋めるの  
に、話す  
ことが多  
すぎたの  
です。  
本当にアツと言う間に同  
期会は過ぎていきました。  
定番の学歌、逍遙歌の斉唱  
でお開きになったのですが、  
ほとんどの参加者が、この  
旅館で泊まることになって  
いましたので、それから部  
屋に帰って、夜が更けるま  
で賑やかな笑い声が続きま  
した。



30周年の記念品としては、  
定期演奏会のレコードを音  
楽CDにしたものが配られ  
ました。これは私が制作し  
ましたので、みんなが喜ん  
でくれてホッとしています。  
特に、幹事として大活躍し  
た井坂氏が、寝る時まで繰  
り返し聞いてくれたのには  
感激しました。  
次の同期会は、4年後の  
平成22年です。オリンピッ  
クの年だから、忘れようが  
ありません。  
京都駅で、一人、また一  
人と街に帰る同期生。  
「元気でね。また会おう」  
そっと呟いてしまいました。